

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議 事務局長 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センター5F
 TEL045-633-5192 FAX045-633-5194
 Email: zan25564@nifty.com http://www.kanagawa-iguren.com

！最近の話題から！

芝 忠

< “異グ連20周年記念交流大会” について >

大会に、松沢・神奈川県知事が出席いただくことになりました。大変多忙な日程の中で「異グ連関係者の皆さんにぜひお会いしたい」とのこと、南出議長から伺いました。

式典は各界の祝辞を頂いた後、記念講演として戸塚・桜友の会会長：中嶋敏夫氏に「洋服づくりと異分野交流—高齢化社会への対応」と題して、徒弟奉公からたたき上げ、自ら障害者である経験を生かした障害者や高齢者への配慮や知恵を伺います。

続いてパネルディスカッションに入り、“第一回全国ネットワーク化研究会と課題（仮題）”をテーマに各県・地域の代表者により事例発表会と討論会を行います。これは全国ネットワークづくりの一環として、同名の研究会を当日午前中に発足させ、その合意課題や各地での経験に基づくネットワーク化の必要性を発表しあうものです。当研究会は、今年秋（11月5日）に石川県金沢市で開催されるINF（広域異業種グループインターネットフォーラム）第6回大会を目指したネットワークづくりの準備会合でもあります。

懇親会は交流会として開催しますので、皆様におかれましてはぜひご参加くださるようお願い致します。

***神奈川異グ連20周年記念交流大会は、4月28日（水）pm13:30～開催いたします（別途ご案内済ですが、問い合わせ等は、045-633-5192 芝へご連絡ください）**

< “ホテル発祥の地” 記念碑の建立について >

横浜市中区山下町の洋食・洋菓子店の“かをり”の店前に“ホテル発祥の地”記念碑が建立され、3月31日に除幕式が行われました。今から150年前の1854年3月、ペルリの2度目の日本上陸（最初は前年の久里浜）による「日米和親条約」が横浜で締結された年でもあります。この地は1860年に「ヨコハマ・ホテル」が開設され、日本で初めて外国人向けの旅館業が営業されたという（横浜黒船研究会世話人代表代行で県立栄養短大名誉教授の草間俊郎氏の考証による）。当時「外国人居留地70番地」であったが、その後1899年（不平等条約といわれた日米修好通商条約—1858年—を改正したのに伴い、居留地を廃止した）に町名変更され山下町となったが、番地はそのまま継承された。いまでも1番地から103番地までは同じという。

さてこの記念碑には34人の発起人の名前が彫られている。この中に筆者や島津龍男ビジネスコーディネータの氏名があります。何故か？建立したのは“かをり会”です。同会は1998年に結成されたファンクラブですが、異業種交流センターが支援した女性経営者グループ「AYUの会」の会長（当時）久保弘子氏（久保印刷社長）との付き合いの縁で、筆者等を含めて数人が加わっているというわけです。“かをり会”の会費を投入して設置され、翌4月1日付け各紙（朝日、毎日、読売、日経、日刊工業、神奈川）に報道されましたが、筆者が写っている写真が神奈川新聞、毎日新聞に載っています。

主要な“かながわ異グ連”のプロジェクト、及び研究会の活動報告

公的補助金プロジェクト

松井BC

3月16日（火）に臨時総会を開催し、会の運営その他について協議しました。初めに、芝会長から中小企業政策の大転換と補助金政策について説明があり、続いて志岐事務局長から平成15年度の受注状況と基本契約締結等について説明があり承認されました。会の運営については、出席者全員から、会の運営や課題について意見が述べられました。特に、会の目的がビジネスにあるのか勉強にあるのか、顧客管理の方法について、研究会内部のコミュニケーションのあり方、セミナー講師の選出等に多くの意見が出されていました。最後に、芝会長から幹事会、理事会をもっと頻繁に実施して研究会活動の活性化を図って行きたいとの発言がありました。

都市（関内）再生プロジェクト

織方BC

3月25日（木）の例会では、横浜市としての考え方を聞くべく、横浜市都市経営局の薬師寺政策課長を講師としてお招きし、1月に設置された「横浜都心部活性化検討委員会」についての説明を受け、質疑・討議を行いました。

2009年の開港150周年記念イベントや、羽田空港再拡張計画等をふまえた「文化芸術、観光振興による都心部活性化」をテーマとし、横浜市庁に事業本部を置き具体化の活動を進めるものです。

BC：神奈川中小企業センタービジネスコーディネータ

新防食技術活用プロジェクト

田中(繁)BC

次回例会は5月中旬に予定していますが、まだ日時が決まっておりません。
本年度は具体的なビジネス展開を目指しており、特に海洋関連施設(石油備蓄、海上風車発電、漁港施設、臨海施設)と支柱の地際防食にフォーカスして、ビジネスチャンスの発掘を進めます。

参加企業を募集中ですのでお申し込みください。
連絡：shigeo.tanaka@m2.people.or.jp 田中まで。
TEL 044-987-5885

韓国(第41回日韓ビジネス協議会)

高橋BC

3月(第40回)は李炅虎氏の帰国送別会も兼ねて(社)韓国貿易協会(神谷町)で開催しました。

- <内容> ●会社紹介・(株)三宝(油空圧機器、伝導用品、制御・輸送機器)・・・統括部長 橋詰希望氏
●「韓国商品展示・商談会」の報告および最近の動向・・・(社)韓国貿易協会支部長良燮氏
●「室内空気汚染」に関して韓国でのPRを企画・・・(有)ハヤカワ・テクノブレン代表取締役早川成明氏
●最近の動向に関して・・・韓国中小企業振興公団日本事務所長 朴魯鍊氏
●「日韓ビジネス交流の橋渡し」・・・(有)アイ・ケー・ブリッジ代表取締役 幡野泉氏

次回は4月28日(水)に中小企業センター・6階特別研修室で(午後3～5時)開催致します。

三浦深層水事業化プロジェクト

八幡BC

「三浦海洋深層水を楽しむ会」も設立以来1年を迎える。この1年間で会員も倍増し毎月“和気あいあい”と文字通り楽しみながら試行錯誤を重ねています。

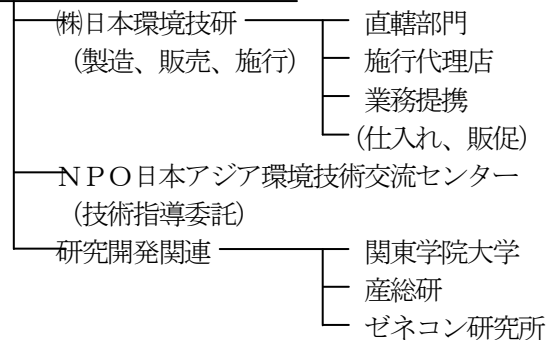
深層水風呂の入浴体験、製塩実験、深層水を使った漬物、塩辛の試食、深層水を500倍に薄めて育てたキャベツや大根の試食、豆腐・がんもどきの試食等々、深層水—塩—ニガリに関する多くの研究調査と料理レシピの作成等、頑張ってきました。

事業化のアイデアも幾つか出てはいるが、それには起爆剤が必要で、新年度は「三浦海洋深層水利用研究協議会」との交流を図りながら、三浦の活性化へ向けて前進あるのみです。

高機能・環境舗装等プロジェクト

織方BC

ほぼ事業化業務展開の組織構想がまとまりました。
(協)かながわビルコン(統括)



日韓ビジネス協議会について(紹介)

事務局 高橋導徳

毎月状況報告をしています「日韓ビジネス協議会」について、紹介させていただきます。

<設立の経緯> 神奈川県異業種グループ連絡会議と韓国中小企業振興公団の交流活動は芝事務局長が1990年に韓国を訪問して日本の異業種交流活動を紹介したことが始まりです。1991年2月6日には「第1回・日韓異業種交流シンポジウム」が横浜で開催され、以後韓国と日本と交互に日韓異業種交流シンポジウムが開催されました。その後、1998年には“成果を出す異業種交流”をテーマに「日韓交流促進プロジェクトチーム」が発足しました。2000年には(財)中小企業異業種交流財団が国の窓口となり、韓国・日本の国同士の交流体制が出来、そのなかで神奈川県はビジネス中心の推進機関として本協議会を発足させました。

<協議会目的> 本協議会は各種情報交換、異文化交流、業務提携、技術提携、資本提携などを促進することを目的としています。

<活動の状況> 本協議会は原則毎月最終週の水曜日を開催日として既に40回の協議会を開催して参りました。韓国側から韓国中小企業振興公団、韓国貿易協会の日本事務所、留学生などが出席しています。また日本側は中小企業の代表者、韓国研究機関の権威者などが出席しています。

<今後の課題> 本協議会は、長い景気低迷のなかで、日韓双方の中小企業が強く連携し、新製品・新技術・事業化への挑戦、努力を行い、経営課題の打開を行っていくことを支援いたします。

*参加はどなたでも自由ですので関心のある企業代表者の参加を歓迎致します。

参加申し込み：TEL 045-311-0094 E-mail mtakahas@tb3.so-net.ne.jp 高橋導徳迄

KIK (85神奈川異業種交流プラザ)

渡部BC

<新年度事業方針>

当会員の意見を集約した処、新年度の景気回復は勢いが有りそうですが、各事業者間での勝敗もまた修復困難な程拡大すると言うものであります。

当会新年度事業方針はこの時流に合せ「自社の経営革新」と題して今まで以上に現場重視・実践的内容としました。まず4月定例会では各社の採用方針と人材繋ぎとめ策を討論し、以後の各月は会場を各社工場に移して代表者自ら自社の経営革新を具体的に語ってもらい、会員による討論・検討を行う方法を取る。長年交わってきた会員による忌憚無い意見は各社の進むべき道を勇気付け、或いは修正に関し非常に有用である。更には中堅幹部会(次世代幹部会)を本会と切り離し自主的運営を行わせ、後継者育成を強力に推進めるプランも実施段階に入りました。

事業の盛衰を賭けた戦いはこれから進められるが、興味のある方は是非ご一報いただきたいと思ひます。

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るための異業種交流グループです。

毎月第2火曜日に定例会を開催し、外部講師による講演や企業視察などを通じて交流と研鑽を図っています。今月は4月13日(火)に企業見学会を開催しました。見学先は協立電機工業様(茅ヶ崎市)で、「経営革新と変化の軌跡」と題して人材の若返りと経営革新に成功している同社の変革プロセスについて学びました。

今後も同様の会員間研鑽会を継続いたします。企業の参加を歓迎いたします。お申込・問合せは有村まで hda00467@nifty.ne.jp

産学官交流サロン**！第一回横須賀交流サロン(三浦半島経済人サロン)が開催されました！**

渡部BC

さる3月11日、横須賀商工会議所内で第一回横須賀交流サロン(三浦半島経済人サロン)を開催致しました。今回は神奈川県横須賀商工労働センター等主催のシンポジウム「(産学官)交流の広場」の懇親会としても共催され、60名以上の各界関係者に歓談していただきました。

尚、**次回は5月26日(水)18:00です。**是非皆様のご参加をお待ちしています。(詳細は次号)

！第2回かわさき経済人ネットワークサロン！をお知らせします。

田中(繁)BC

好評の第一回(2月25日)に引き続き、第二回のご案内を致します、ぜひご参加ください。

日時:平成16年4月27日(火)18:00~20:00 (見学会参加者は17:30集合)

場所: (財)川崎市産業振興財団、新産業創造センター(KBIC)内、1階会議室

住所: 川崎市幸区小倉308-10、新川崎創造のもり地区 電話: 044-587-1591

アクセスマップ: <http://www.kawasaki-net.ne.jp/kbic/map.html> 新川崎駅下車10分

参加費: 1,000円 当日支払い (懇親会費を含む) 参加者40名を想定

テーマ: 新産業創造センターの紹介(インキュベーターとものづくり基盤技術強化)。参加者のPRと情報交換スケジュール:

17:30 KBIC インキュベーション関連施設等の見学会 (1階ロビーにご参集ください。)

18:00 開会挨拶 神奈川県異業種グループ連絡会議 議長 南出健一氏

18:05 講演: 「新産業創造センターのビジネスインキュベーション、現状と課題」

新産業創造センター 岩田所長

インキュベーションマネージャー 飯沼氏

18:45 懇親会と自由な意見交換 (参加者からの積極的な提案を歓迎します。)

20:00 終了(参加希望者には2次会もアレンジします)

* 参加申し込みはFAXまたは電子メール (s-tanaka@saturn.dti.ne.jp) でお願ひ致します。

FAX:045-633-5194 (神奈川県異業種グループ連絡会議事務局、電話:045-633-5192)

かながわ異グ連ニュース掲示板

自由投稿覧

第1回神奈川子ども未来ファンド ハンズ to ハンズ助成フォーラム

ー 子どもたちが生きていることに誇りと喜びを持てる地域社会をー

日時： 2004年5月5日 (水・こどもの日) 開場13:00～ 開始13:30～

場所： フォーラムよこはま 第1会議室 (ランドマーク13階)

全国初！神奈川発！子ども達の過ごす場をひとりひとりのファンドで支えよう！

神奈川子ども未来ファンドは、子どもたちの育ちに心を寄せる人と子どもたちを地域で支えるさまざまな NPO を「寄付」という形でつなごうと 2003 年の春に本格的にスタートしました。そして、今年の春、これまでに寄せられたたくさんの「思い」を、初めて手渡すことができることになりました。

『ハンズ to ハンズ』

一人の思いを広げ、地域や職場でそれぞれに応じた手法で寄付を集めてくださった方、助成先のNPO、そして子どもたちに心を寄せる多くの人、企業、団体が手をつなぐ、出会いの場です。

子どもたちの「命」を支えるネットワークがここから始まります。

***** (お申し込みはなるべく FAX、メール にてお願いします。)

特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド事務局

連絡先：〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1 横浜ワールドポーターズ6Fアリスセンター内 (担当：米山)

TEL：045-212-5825 / FAX：045-212-5826

e-mail：info@kodomofund.com URL：[//www.kodomofund.com](http://www.kodomofund.com)

地域紙「湘南ブルーオンライン」に「指定期日のイベント情報」を載せてみませんか！！

私は現在、湘南ブルーオンラインというオンライン新聞の街ナビという運営スタッフをやらせていただいています。そのナビの仕事に「指定期日のイベント情報を収集する」という業務があります。

何かイベント情報をお持ちの方。是非私に教えてくださいませんか？湘南ブルーオンラインに掲載させていただきます。個人登録も出来るようになっていきますので、ご自分でされても構いません。

湘南、と謳ってはいても、のぼりは横浜くらいまでくんだり厚木や小田原など（一部湯河原まで）含まれています。情報お待ちしております。子育てに限らず、イベント全般を募集しています。地元商店街の宣伝なんかもOKですので、宜しくお願いします。念のために、こんな新聞です（怪しくないですよ）。

湘南ブルーオンライン <http://shop.shonanblue.ne.jp/blue/index.php3>

トップページ「今日の湘南の人」にご出演なされたい方も募集しています。水口が取材担当になっています。写真撮影と簡単なコメントシートにご記入いただき、おしまいです。（全部で20分～30分）ご希望のある方はメールください。（会社から何卒かを預かっているので、問題なく掲載になるはずですよ）

***** (お申し込みは下記)

思い出屋本舗 水口美恵子 omoideya@jcom.home.ne.jp <http://members.jcom.home.ne.jp/omoideya>

<感想・意見コーナー>

異業種交流って？

「異業種交流は、共同で事業展開とか、商品・製品開発とか、即経営に生かせる交流を！」といった目的に絞ってしまうと、異業種交流ならではの混ざり合いが出来なくなりそうです。交流主体の活動は、結果として目に見える成果が少ないですが、違った職種や違った考えをもつ経営者同士のお付き合いのなかで、それぞれの思考の中には、必ず影響を受け合っているものだと思います。自分自身がまだ未熟なのでなんとも偉そうなことは申し上げられませんが、誰かだけが損をしたとか、得をしたとかではなく、誰かの力に頼らず会員自身が活動を支えあえるグループ運営が大切だと思います。（チャイルドサービス遊 竹沢佐知子氏から頂きました）

かながわ異グ連会員の方、会員でない方、どなたでも自由に情報交換が出来ます。投稿ください

(投稿先：事務局スタッフ小野川利昌 onogawa@hkg.odn.ne.jp、FAX044-954-6254

相楽 守 mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp FAX03-3701-9712)